

新潟県埋蔵文化財センター講演会

毎年数多くの発掘調査が行われ、新たな発見や史実を裏付ける成果が得られています。この講演会では、各時代の専門家が遺跡の発掘調査で明らかになった郷土の歴史を分かりやすく解説します。



埋蔵文化財センター講演会 (全 10 回)

13:30 ~ 15:30

定員 80 名 (先着)



第 5 回 10/15(日)

「下谷地遺跡の時代」

講師：齋藤瑞穂氏 (新潟大学)

柏崎市下谷地遺跡が営まれた時代は、新潟県域における本格的な農耕文化の確立期にあたります。この大きな変化について解説します。



第 6 回 11/12(日)

「青田遺跡の時代—縄文社会を探る—」

講師：荒川隆史 (新潟県埋蔵文化財センター)

新発田市青田遺跡が営まれた縄文時代晩期には、新潟県の平野部に大小のムラが造られます。この社会について考えます。



第 7 回 12/10(日)

「加地庄と佐々木氏・中条氏」

講師：前嶋 敏氏 (新潟県立歴史博物館)

中世の加地川流域には加地庄が成立し、多くの遺跡や加地庄に関わる中条家文書等があります。この加地庄について考えます。



第 8 回 1/14(日)

「上ノ平・吉ヶ沢遺跡の物語—氷河時代を生き抜く狩猟民—」

講師：沢田 敦 (新潟県埋蔵文化財センター)

阿賀町上ノ平・吉ヶ沢遺跡出土の旧石器時代の遺物から、約 23,000 年前の狩猟民の生き抜くための技術と工夫を読み解きます。



第 9 回 2/18(日)

「山三賀 II 遺跡の時代—律令期の阿賀北地域—」

講師：春日真実 (新潟県埋蔵文化財センター)

奈良時代初めころ、砂丘上に出現した聖籠町山三賀 II 遺跡の発掘成果をもとに、その背景や集落・役所などについて検討します。



第 10 回 3/18(日)

「縄文の墓から探る精神文化」

講師：加藤元康 (新潟県埋蔵文化財センター)

新潟県の縄文時代の墓は土坑墓や配石墓など様々な種類があります。その特徴を明らかにし、当時の精神文化を考えます。